平成29年2月28日

計画の名称 21 災害に強い道路ネットワークの形成による安心・安全な地域づくり 重点計画の該当 計画の期間 交付対象 鹿児島県 平成26年度 ~ 平成30年度 計画の目標 災害時等の被災地内外の交通を確保するため、緊急輸送道路の整備や主要幹線道路のリダンダンシーを確保する整備を推進し、道路利用者及び地域住民の安心・安全の確保を行う。 計画の成果目標(定量的指標) ・道路整備により道路利用者が得られる走行時間を1,8千時間(H28末1,2時間)創出する。 定量的指標の定義及び算定式 定量的指標の現況値及び目標値 備考 当初現況値 中間目標値 最終目標値 ・鹿児鳥県地域強靱化計画に基づき実施される要素事業 (H26当初) (H28末) (H30末) A-1, 3, 4, 5, 10, 12, 21, 22, 24, 25 薩摩川内市定住自立圏共生ビジョンに基づき実施され 道路整備により道路利用者が得られる走行短縮時間 る要素事業 A-15 22 0 千時間 1.3 千時間 大隅定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素 創出短縮時間(h) = 短縮時間(h) × 道路利用者数(交通量(台/日) × 乗車人数(人)) 2.0 千時間 A=3, 7, 19 都城広域定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される 要素事業 A-4, 21, 23, 26 合計 全体事業費 10,746百万円 0百万円 С D 10,746百万円 В 百万円 0百万円 効果促進事業費の割合 0.0% Α (A+B+C+D) 交付対象事業 A 基幹事業 要素となる事業名 交付 事業実施期間 (年度) 事業 地域 直接 事業内容 個別施設計画 全体事業费 事業者 市町村名 費用便益比 備考 (百万円) (事業箇所) 種別 種別 対象 間接 (延長・面積等) H26 H27 H28 H29 H30 策定状況 鹿児島県 (国) 226号 久志拡幅 現道拡幅 L= 2.2km 道路 一般 直接 南さつま市 21-A-1 1,540 21-A-2 道路 一般 鹿児島県 直接 (国) 447号 青木バイパス バイパス L=0.9km伊佐市 90 H28・P37へ数4 吉ヶ別府拡幅 道路 一般 鹿児島県 直接 (国) 504号 バイパス L= 0.7km 鹿屋市 940 21-A-3 道路 一般 鹿児島県 直接 (主) 日南志布志線 出水工区 現道拡幅 L= 0.7km 志布志市 310 21-A-4 道路 一般 鹿児島県 直接 (主) 鹿児島東市来線 大田工区 現道拡幅 L= 0.4km 日置市 200 21 - A - 5(主) 石垣加世田線 水成川工区 現道拡幅 21-A-6 道路 一般 鹿児島県 直接 L=0.4km南九州市 240 21-A-7 道路 一般 鹿児島県 直接 (主) 垂水南之郷線 高峠工区 現道拡幅 L= 0.3km 鹿屋市 一般 鹿児島県 (一) 木場吉松えびの線 北方工区 現道拡幅 21-A-8 道路 直接 L= 3.3km 湧水町 H27:P17へ移行 21-A-9 道路 一般 鹿児島県 直接 (一) 飯山喜入線 飯山工区 現道拡幅 L= 2.3km 南九州市 1,000 21-A-10 道路 一般 鹿児島県 直接 _ (一) 霜出川辺線 高田工区 現道拡幅 L= 1.8km 南九州市 900 _ 一般 鹿児鳥県 (一) 打木谷白沢津線 白沢工区 現道拡幅 L= 0.5km 270 21-A-11 道路 直接 枕崎市 道路 一般 鹿児島県 直接 _ (一) 阿多川辺線 花瀬工区 現道拡幅 L= 1.4km 南さつま市 581 21-A-12 一般 (一) 養母長里線 21-A-13 道路 鹿児鳥県 直接 野山坂工区 現道拡幅 L= 1.1km 日晋市 605 一般 21-A-14 道路 鹿児島県 直接 (一)養母長里線 梅木工区 現道拡幅 L= 0.3km 日置市 0 道路 一般 鹿児島県 (一) 下手山田帖佐線 上手工区 現道拡幅 L= 0.2km 薩壓川内市 92 21-A-15 直接 21-A-16 道路 一般 鹿児島県 直接 _ (一) 十三谷重富線 北山工区 現道拡幅 L=0.7km姶良市 61 21-A-17 道路 一般 鹿児島県 直接 (一) 犬飼霧島神宮停車場線 持松工区 現道拡幅 L= 0.6km 霧鳥市 184 21-A-18 道路 一般 鹿児島県 直接 _ (一) 崎森隼人線 朝日工区 現道拡幅 L= 0.3km 霧島市 121 _ 道路 一般 鹿児島県 (一) 黒石串良線 二子塚工区 現道拡幅 L= 2.5km 大崎町 875 21-A-19 直接 _ _ 一般 鹿児島県 直接 (一) 宮ヶ原岩川停車場線 飯田工区 現道拡幅 曽於市 21-A-20 道路 _ L= 2.2km _ (一) 志布志有明線 道路 一般 野神工区 現道拡幅 志布志市 450 21-A-21 鹿児島県 直接 L= 1.9km 一般 鹿児島県 バイパス 道路 直接 (一) 東郷西方港線 湯之元工区 L= 0.6km 薩摩川内市 1,083 21-A-22 _ _ 道路 一般 鹿児島県 直接 (1) 河原飛佐線 岩川工区 現道拡幅 L=0.6km曽於市 21-A-23

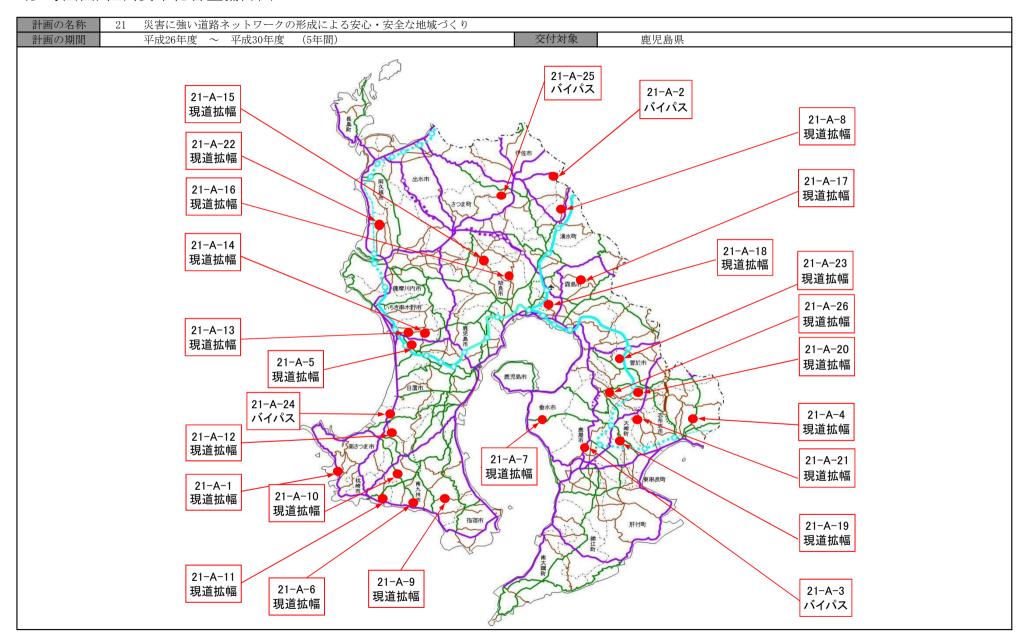
21-A-24	道路	7-0-1	鹿児島県	直接		_		(国) 270号	宮崎バイパス	バイパス	L= 1.3km	南さつま市						434	_	H27: P28から移 H29:P14へ移行
21-A-25	道路		鹿児島県	直接		_		(一) 鶴田大口線	曽木工区	バイパス	L= 0.2km	伊佐市							-	H27: P28から移
21-A-26	道路	一般	鹿児島県	直接	ļ.,			(一) 宮ヶ原岩川停車場線	· 岩川工区	現道拡幅	L= 0.1km	曽於市						700		
															合計			10, 746		
B 関連	生会資本	整備事業	ì												ПВІ			10,110	<u> </u>	
番号	事業種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事	耳業名		業内容 ・面積等)	市町村名 港湾・地区名	H26	事業実 H27	施期間(H28	年度) H29	H30	全体事業費 (百万円)	備考	;
	12279 9	131/4	,,,,,,,	1.35		,	,					1								
									-											
番号 一体的に実施することにより期待される効果									備考	•										
C 効果(足進事業																			
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事	写業名	事		市町村名 港湾・地区名	H26	事業実 H27	施期間(H28	年度) H29	H30	全体事業費 (百万円)	備考	;
															合計			0		
番号 -	一体的に	実施する	うことによ	り期待さ	される効果	1													備考	
D 社会資			整備事業																	
番号	事業	地域	交付	直接		道路	省略	要素となる事		事業内容	市町村名				年度)	全体事業費 (百万円)		備考	;	
	種別	種別対象	対象	対象間接		種別	工種	(事業箇	所)	(処長・	・面積等)	1	H26	H27	H28	H29	H30	(日ガロ)		
				<u> </u>								1	<u> </u>	<u> </u>	<u></u> 合計	<u> </u>		0		
番号 -	H-65) -	· ##+	' > 1.7 = 1	- h #11/2ナム	とし フ 杉 田	1									цн			<u> </u>	備考	
金万	一14的に	- 天肔する	うことによ	、り期待さ	きれる効果	-													1佣-6	

交付金の執行状況

(単位:百万円)

						(単位:日/
		Н26	Н27	H28	Н29	Н30
	配分額 (a)	120. 459	137. 128	622. 033		
	計画別流用 増△減額	0	0	0		
	交付額 (c=a+b)	120. 459	137. 128	622. 033		
	前年度からの繰越額 (d)	0.000	30. 230	23. 220		
	支払済額 (e)	90. 229	144. 130	282.823		
	翌年度繰越額 (f)	30. 230	23. 220	362. 430		
	うち未契約繰越額 (g)	25. 432	0.000	87. 571		
	不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.008	0.000		
	未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	21.1%	0.0%	13.6%		
未契約	灼繰越+不用率が10%を超え ている場合その理由	ルート変更見直し (トンネル→切 土)による設計委 託に時間を要した ため	_	埋蔵文化財調査に 不測の日数を要 し、工事発注に遅 れが生じたため		

(参考図面)社会資本総合整備計画



社会資本整備総合交付金チェックシート

(社会資本整備総合交付金事業)

計画の名称:災害に強い道路ネットワークの形成による安心・安全な地域づくり

<u>事業主体名:鹿児島県</u>

チェック欄

I.目標の妥当性						
①計画が上位計画等と適合している。	0					
②地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。						
③数値目標や指標を用いるなど,客観的かつ具体的な目標となっている。						
Ⅱ. 計画の効果・効率性						
④目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	0					
⑤指標▪数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	0					
⑥指標▪数値目標が分かりやすいものとなっている。	0					
⑦十分な事業効果が見込める。	0					
⑧他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	0					
Ⅲ. 計画の実現可能性						
⑨計画の具体性など,事業の熟度が高い。	0					
⑩地域の協力が見込める。	0					
①関連する地方公共団体等との調整が図られている。	0					